

# 木場潟公園 中期経営目標

## (実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

### 1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市環境の維持・向上を図るとともに、県民の利用に供することにより、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

### 2 施設の果たすべき役割

木場潟公園は、小松市の南方に位置し、自然のままの姿で残された県内唯一の潟である木場潟の優れた自然を保全、利用するために整備された広域公園です。本公園は、水郷風景に調和するように田園的で素朴な公園となっており、木場潟とその周辺の自然との結びつきの中で憩い、やすらぐことが出来るようになっています。

北、南、西、中央の各園地には水生植物園やボートなどの水に親しむ施設や多目的グラウンドやゲートボール場などの健康運動施設、そのほか休憩所や展望台などが設けられています。

本公園は、健康運動、休息、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

### 3 事業内容

#### (1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、潟と一体となった、緑豊かな快い環境を創出します。

#### (2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

安心・安全な公園散策や周遊園路でのウォーキング・ジョギングをはじめ芝生広場を活用したパークゴルフやグラウンドゴルフ等の健康促進、地域交流活動、多目的グラウンドでのサッカーなどの野外スポーツ活動の場を提供します。

#### (3) 自然体験・学習の場の提供

湖面や植栽地を活用した自然観察や野鳥観察などの野外学習の場を提供します。

#### (4) 県民参加による交流の場

公園内で開催されるイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

### 4 現状と課題

#### (1) 管理運営体制について

- ・木場潟公園では、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成1

8年度から導入しています。

・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から平成29年度までは、「公益財団法人 木場潟公園協会」を指定管理者として指定しています。

・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

## (2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。

・木場潟公園では、花菖蒲まつり、木場潟公園まつり、キャンドルナイトウオーキング、レンタサイクル、ドッグラン事業など指定管理者による自主事業を行っています。

・今後も、本公園の最大の特徴である木場潟の景観・自然環境を保全し、周遊園路や芝生広場、多目的グラウンド、公園センター、多目的展望台等を活かしながら、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。

・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っており、今後とも情報発信の充実に取り組んでいく必要があります。

・県民参加型の公園として、より活性化していくためには、地域や関係機関、ボランティア等との連携を促進することが求められ、それに向けた取り組みを進めていく必要があります。

## (3) 施設運営の効率化について

・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。

・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

## 5 中期経営目標

### (1)中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を3年間で18%増加させます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

### (2)測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
①利用者数		591,753人	700,000人
②利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	96.8%	95%以上
	施設の維持・管理	98.2%	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

#### ①利用促進に向けた取り組み

- ・花菖蒲まつり、木場潟公園まつり、各種スポーツ大会など各階層の人が爽やかに楽しく元気になれるようなイベントを行います。
- ・観月会や夜の音楽会、花・写真講習会など新しいイベントを実施します。
- ・ドッグランの排水改良、芝生の張り替え工事を行い、良好な状態を維持するとともに、新規利用者の獲得や「わんわん運動会」のPRを行い、利用率の向上を目指します。
- ・イベントの告知やリアルタイムな情報提供などによりホームページを充実させるほか、パンフレットを作成し、公園の魅力の発信を行います。
- ・幹線道路での案内板や園内の施設案内看板を増設します。また、多言語による案内表示やパンフレット作成を検討します。

#### ②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・適切な接遇ができるよう、徹底したスタッフ教育を実施します。
- ・スポーツイベントの早朝利用者に対応できるよう、管理事務所の早朝オープンを実施します。
- ・安全で快適な環境を提供するため、こまめな施設点検と園内パトロールを行います。
- ・利用者や地元町内会等からのアンケートを収集し、管理運営に役立てます。

## (2)施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・ボランティア団体と連携した植物の管理を図ることにより、公園と人とのネットワークを増やすほか経費の削減を図ります。
- ・イベント時におけるスポンサー企業の導入や参加者からの参加費徴収などにより、経費削減を図ります。
- ・芝生の刈くずの堆肥化など、資源のリサイクルや廃棄物の減量化に取り組み、環境に配慮した管理を行います。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用者数

項目	H23	H24	H25
利用者数	584,656人	607,970人	591,753人

(2)有料施設の利用状況と収入の実績

温水シャワー

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
0件	0千円	144件	14.4千円	54件	5.4千円

H23年度まで故障のため利用なし

貸しポート

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
126件	37.8千円	240件	56.4千円	304件	89.1千円

H24年度から無料利用含む